




象牙質再生におけるC C N 2 のインビトロ研究

著者	Youjing Qiu
学位名	博士(歯学)
学位授与機関	北海道医療大学
学位授与年度	平成30年度
学位授与番号	30110甲第312号
URL	http://id.nii.ac.jp/1145/00064682/

2019年1月25日

学位論文審査並びに最終試験結果報告書

大学院歯学研究科長 殿

主査 村田 勝 
副査 長澤 敏行 
副査 廣瀬 由紀人 

今般 Youjing QIU 様にかかわる学位論文審査並びに最終試験を行い下記の結果を得たので報告する。


記

- 1 学位論文題目
The in vitro study of CCN2 on dentin regeneration
- 2 論文要旨 別添
- 3 学位論文審査の要旨 別添（様式第12号）
- 4 最終試験の要旨 別添（様式第13号）

以上の結果 Youjing QIU 様は博士（歯学）の学位を授与する資格のものと判定する。

学位論文審査の要旨

主査 村田 勝
副査 長澤 敏行
副査 廣瀬 由紀人



氏 名 Youjing QIU （邱 友靖）

学位論文題目 The in vitro study of CCN2 on dentin regeneration

以下本文（15行目から1000字以内）

平成30年（2018年）12月4日歯科薬理学 谷村教授室において、邱院生と面談／試験が行われた。学位審査員3人から提出論文に対する質問・助言が英語でなされ、議論すると共に査読用紙が渡された。平成30年12月12日に修正論文が提出された。その要点と回答は、Experiment 1, 2, and 3という用語は継続使用することと次の修正ポイントである。

1. Every single experiment was performed at least three times, the median result was then choosing for statistical analysis using One-way ANOVA with post-hoc Tukey HSD (http://astatsa.com/OneWay_Anova_with_TukeyHSD/). And in the revised thesis, all significant differences were restricted only between control group and experiment group.
2. Page 6, line2: The meaning of 'exposure site' is 'site of injury'. I changed the expression to 'pulp exposure site'.
3. Page 3 and 18: Data were rounded to two decimal places.
4. Abbreviated the acknowledgement section.
5. Figure 3: Changed days into hours.
6. Changed the expression to first person.
7. Corrected the year error and deleted the issue number in references.
8. Corrected several grammatical and spelling errors.

12月21日に再査読結果を邱院生に添付送信した。再査読の主要点は統計分析であった。同日2回目の修正論文が提出され、追加修正された部分は次である。

1. Deleted personal pronouns throughout all pages.
2. Changed the description of statistical analysis.
3. Significant differences were not only restricted between control and case in all figures.
4. Redrawn figure 7 and 8.

以上のプロセスを経て、平成31年（2019年）1月本学学位論文に相当するものと判断して審査を終了した。

最終試験（学力の確認）の要旨

主査 村田 勝
副査 長澤 敏行
副査 廣瀬 由紀人



氏 名 Youjing QIU （邱 友靖）

以下本文（10行目から200字以内）

大学院3年に在籍中の邱 友靖様は、学位論文内容をIFのあるジャーナルに公表済みのため、学位論文を提出して審査を受ける要件を満たしていた。

平成30年12月4日学位審査員3人との試験時の英語での議論内容や質疑・助言に対する的確で迅速な論文修正，提出物（The roles of SIBLINGs family in dentin matrix）から学位に値する知識・学力を満たしているものと評価した。